



1 学期を振り返って

早いもので錦ヶ丘中学校に入学して半年が経ち、1年生の半分が終了しました。さてどんな半年間だったのでしょうか。初めてづくしの様々な経験から、子ども達は学ぶことがたくさんあったようです。身体も心も入学時に比べると大きくなり、変わったと感ずることがあるのではないのでしょうか。慣れないために失敗することもありました。しかし、勉強も部活動も人間関係も、つまずいたり、間違ったりしながら、子どもたちは少しずつ成長していきます。

子ども達は、この1学期を振り返り生活面・学習面の自己評価をしました。自分を客観的に見て、厳しく評価できる人、甘い評価の人、とさまざまです。「人に優しく、自分に厳しく」できる生徒になることを願っています。

明日からの秋休みに、新入大会が開催されます。3年生の引退後、短期間で新しいチームをどのくらい作り上げることができたのか、試される大会です。選手として出場できる人も、そうでない人も精一杯頑張ってきてほしいと思います。また、短時間でもできることはたくさんありますので、1学期の復習やりフレッシュなど、休みを有意義に過ごし、2学期の始業式には、さわやかな笑顔で会いたいものです。

1 学年代表のことば＜終業式＞

僕は1学期、学年委員長として自分から積極的にあいさつをし、学年のあいさつを増やすため、模範となれるよう頑張りました。最初は委員長だという自覚が薄く、行動にもあまり移せずにはいました。ところが実際に廊下を歩いていて全体的にあいさつが少なく感じたり、毎月の専門委員会でもあいさつが活発でないという意見が多く出たりと、あいさつの少なさが問題だと感じるようになりました。自分が直接感じたり、他の人も同じように感じていることを知り、もっと自分からあいさつを増やそうと改めて強く思うようになったのです。それからは学年委員長としての自覚を持ち、積極的にあいさつができるようになりました。この活動をしているのは学年委員だけではありません。

1学年では NSP 錦スマイルプロジェクトを発足し、そのサポーターを各クラスから選出しました。気持ちの良いあいさつを通して学年の雰囲気をもよくするため、呼びかけやポスター作成・朝の放送を行いました。最近では、「あいさつが増えたね」と先生に言われることもあります。

1学期は校外学習・文化祭・学年運動会に全員が積極的に取り組み、とても良いスタートを切れたと思います。2学期もさらによい学年にするため、全員で努力していきましょう。僕も、次のリーダーをサポートし、積極的に行動していきたいと思っています。



10月17日(木) 始業式の持ち物
授業の準備(34・54)・筆記用具
きれいに洗った上靴・体育着
はしセット・白衣
通信票ファイル

*** 部活動はあります**

～学年運動会を終えて～ その2

2組 赤沼 朔弥

僕が運動会で学んだことは、練習の大切さとチームワークの大切さです。総合ではあまり良い結果は残せなかったけれど、それと同時に何かの大切さに気づいた自分がいました。練習の大切さというのは、やはり練習をすることで本番の結果につながると思いました。でもあまり練習はしてなかったので、学んだと同時に反省でもあります。

次にチームワークの大切さというのは、仲間と気持ちを一つにすることで、良い結果が出せるということと、楽しいということにもつながってくると思います。結果よりもそのときの気持ちが大切だと思いました。学年運動会はとても良い経験でした。

5組 玉川 日奈子

今回の学年運動会を終えて、私はチームでの協カプレーの大切さを学びました。ボール運びリレーでは見事1位を取ることができました。つづく綱引きではシードを取り4位。全員リレーでは6位と奮いませんでしたが、勝負後にみんな文句を言ったりせず、笑顔だったのが良いなと感じました。3位までに入ることはできませんでしたが、それぞれ1人1人が楽しんで運動会に参加できたと思います。企画していただいた PTA の方々や学年委員のおかげです。また学年での企画や行事があるといいと思います。

